

市民アンケートにみる好まれる景観の特性に関する研究

- 大分市「私が選ぶおおいた100景」をケーススタディとして -

研究背景と目的

景観法の施行を受け、景観に対する社会的関心が高まっている

大分市が行った「私が選ぶおおいた100景」市民アンケートをもとに、
好きな風景としてよく挙げられている景観を抽出し分析



大分市民が好む景観の特徴を把握

撮影景観の選定とシーンの抽出

研究対象

「私が選ぶおおいした100景」市民アンケート 平成18年6月実施
うち、下記2項目

質問1	あなたが好きな自然の風景は、どこから何を見たものですか (1つだけお書きください)
質問2	あなたが好きなまちの風景は、どこから何を見たものですか (1つだけお書きください)

視点場と視対象の組み合わせによる順位表を作成

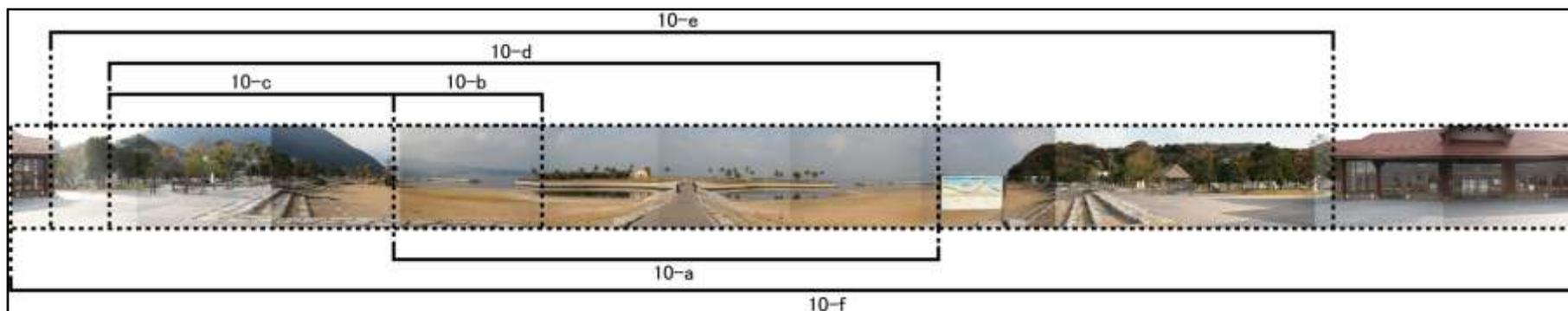
100に最も近い、64位までの全84の景観について分析

84の景観を、各撮影ポイントから水平方向360° 撮影

視点場	「何を」 回答	シーン
田ノ浦ビーチ	海	10-a
	別府湾	10-a
	別府方向	10-b
	海岸(別府方向)	10-a
	高崎山	10-c
	高崎山、別府湾	10-d
	高崎山、別府湾、別大国道	10-e
	田ノ浦ビーチ	10-f
	田ノ浦海水浴場、街並み(別府)	10-f
	高崎山	10-c

撮影した画像をより詳細に分析するため、
シーンの抽出を行う

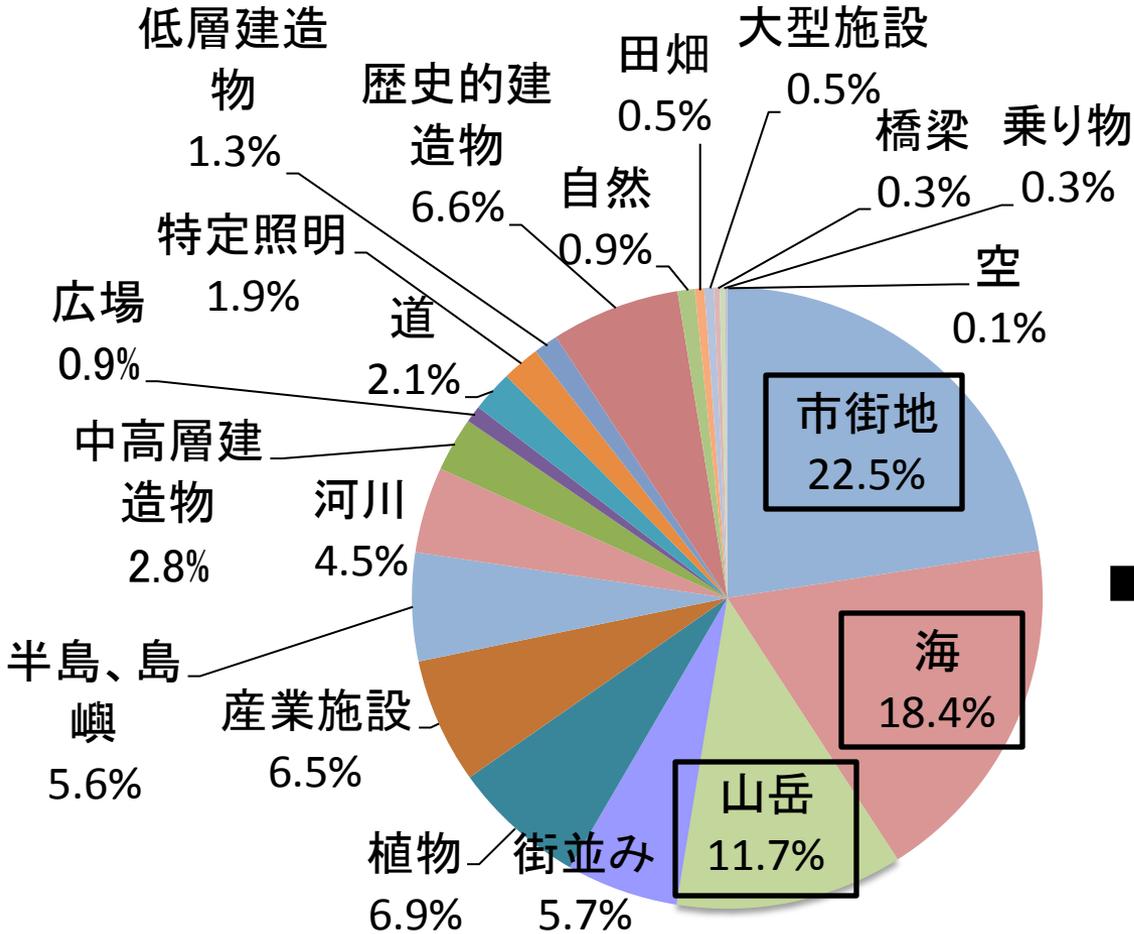
シーン : 各視点場で「何を」見ているかで
挙げられた要素が、画像から確認
できる範囲



84の景観から全239シーンを抽出

景観構成要素の分析

視対象として挙げられた景観構成要素



アンケート回答内で「何を」見ているかで言及された要素の割合を求めた。



大分市が周囲を山で囲まれており、かつ海に接している地形であることが影響していると考えられる。

景観構成要素の分析

シーンを構成する景観構成要素

シーンを構成する23景観構成要素をデータとして数量化Ⅲ類を適応

負の側 : 遠距離から見られる要素
 正の側 : 近距離で見られる要素



第Ⅰ軸【距離景の軸】

同様に

第Ⅱ軸【市街化の軸】

第Ⅲ軸【内陸の軸】

と解釈

アイテム	カテゴリー	カウント	第Ⅰ軸				第Ⅲ軸	
			スコア	レ	ア	レンジ		
地形	0	55	2.52		地形		5	
	1	184	-0.75		-0.75		6	2.01
半島、島	0	159	1.06		海		7	3.80
	1	80	-2.10		-1.82		2	
河川	0	176	0.48		海		9	4.91
	1	63	-1.35		-1.82		1	
海	0	127	1.60		市街地		1	3.43
	1	112	-1.82		-1.69		2	
田畑	0	220	0.30	3.73	0.18	2.32	0.37	4.60
	1	19	-3.44		-2.13		-4.24	
植物	0	39	-1.76	2.10	-1.58	1.00	2.65	3.17
	1	200	0.34		市街地		2	
動物	0	238	-0.03	6.00	大型施設		2	4.06
	1	1	6.22		-4.35		5	
自然現象	0	227	0.09		産業施設		9	5.78
	1	12	-1.73		-2.12		9	
市街地	0	107	2.08		歴史的建造物		5	0.11
	1	132	-1.69		3.89		6	
低層建造	0	94	-0.05		道		9	1.96
	1	145	0.03		0.85		7	
中高層建	0	86	-0.15		道路設備		0	1.41
	1	153	0.08		0.57		1	
大型施設	0	227	0.23		道		2	4.47
	1	12	-4.35		3.89		4	
産業施設	0	152	1.21		道		2	0.33
	1	87	-2.12		0.85		1	
橋梁	0	149	0.90		道路設備		3	1.95
	1	90	-1.50		0.57		3	
歴史的建	0	217	-0.39		歴史的建造物		3	1.36
	1	22	3.09		3.89		4	
広場	0	179	0.11		道		7	1.07
	1	60	-0.34		0.85		10	
空地	0	205	0.08		道路設備		8	1.25
	1	34	-0.46		0.57		7	
道	0	83	1.59		道		5	0.85
	1	156	0.85		0.85		9	
道路設備	0	67	-1.46		道路設備		6	0.09
	1	172	0.57		0.57		2	
障壁	0	63	-0.91		道路設備		1	1.36
	1	176	0.33		0.57		16	
塔	0	177	0.33		道路設備		6	2.54
	1	62	-0.95		0.57		8	
親水設備	0	233	-0.05		道路設備		16	2.29
	1	6	1.89		0.57		3	
乗り物	0	98	-0.79	1.34	-1.87	3.16	-1.31	2.22
	1	141	0.55		1.30		0.91	
固有値				0.16		0.14		0.08
相関係数				0.40		0.37		0.28
累積比				0.16		0.29		0.37

次に、クラスター分析を行い、計5つのクラスターを得た。

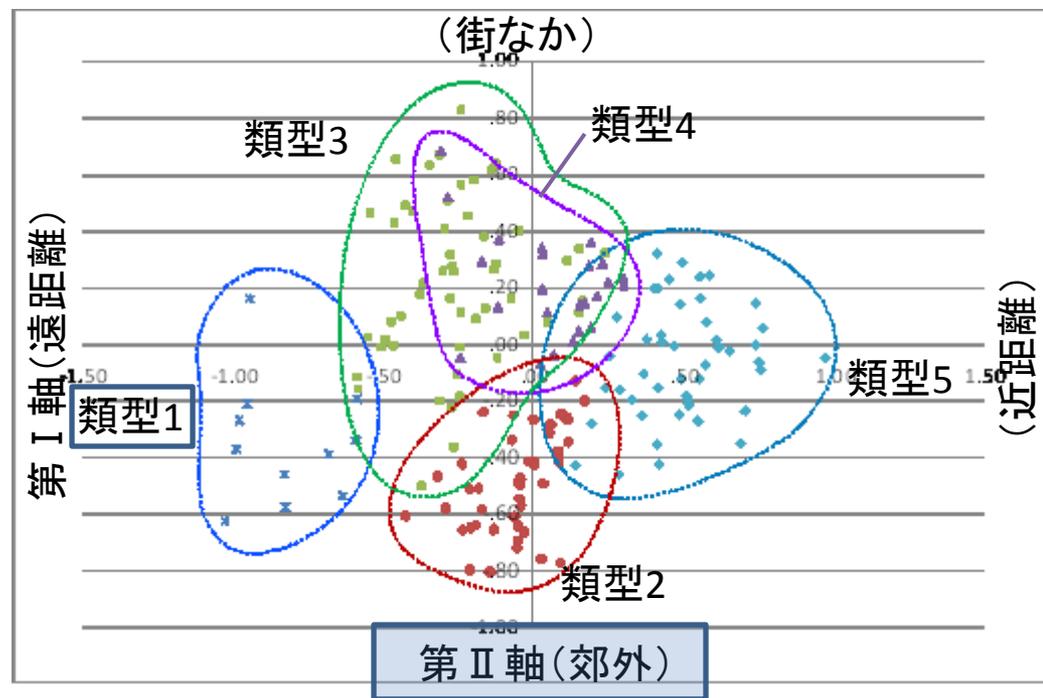
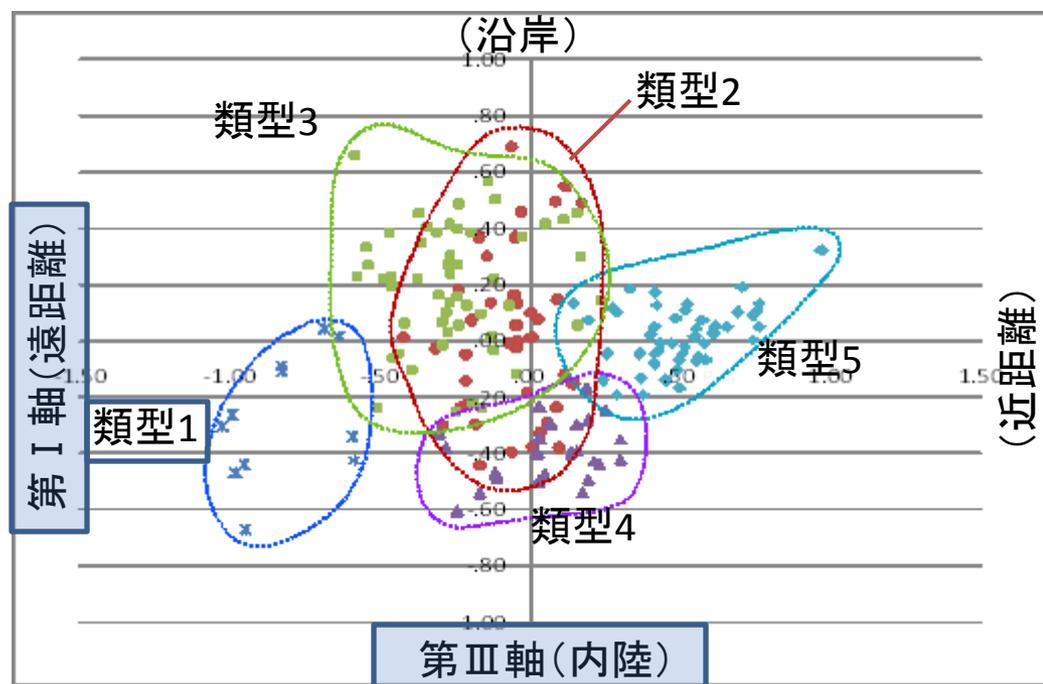
類型1【郊外 - 内陸 - 遠距離型】

類型2【郊外型】

類型3【沿岸景観型】

類型4【内陸 - 市街地型】

類型5【市街地 - 近距離 - まちなみ型】



視覚構造による分析

類型ごとの視野角、視距離、標高差、位置関係といった視覚的な構造について分析

- ・視距離、標高差

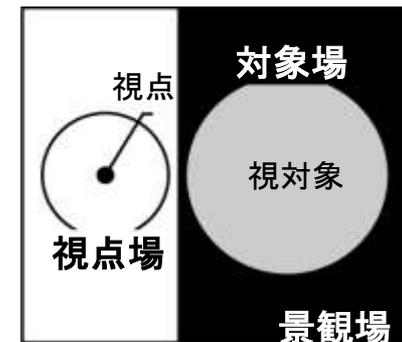
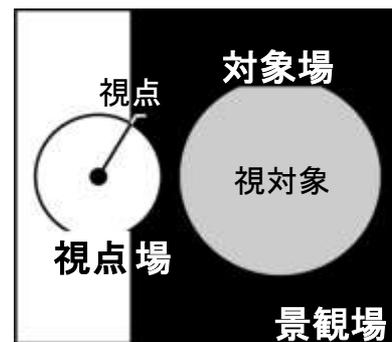
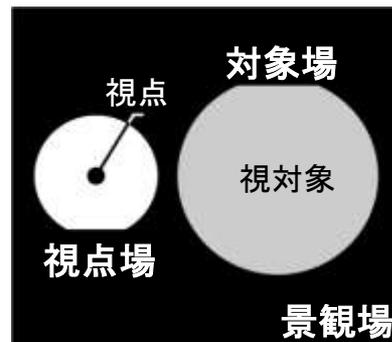
各シーンで視対象として挙げられた要素を主景と定め、その主景の中心と視対象との距離、標高差について把握

- ・位置関係の分析

全シーンを3つのタイプに分類

タイプB

【景観場＝視点場＋対象場】

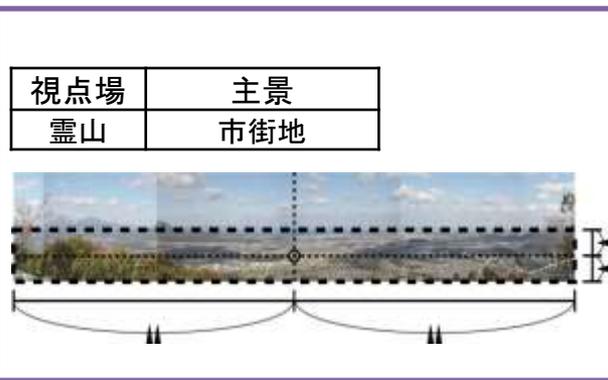


タイプA

【景観場＝視点場(含:視点)
＋対象場】

タイプC

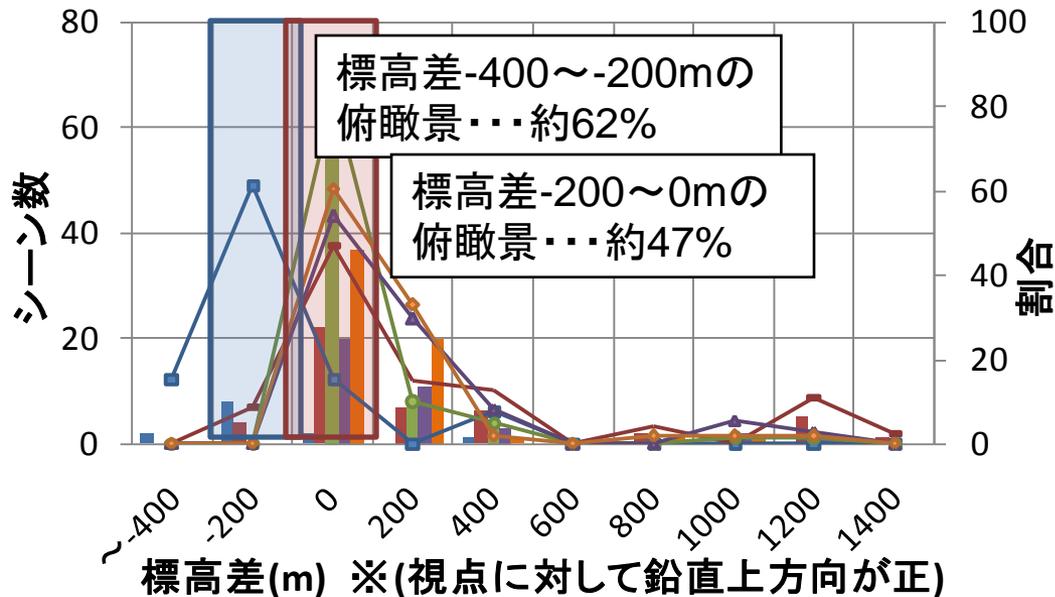
【景観場＝視点場】



類型1【郊外-内陸-遠距離型】



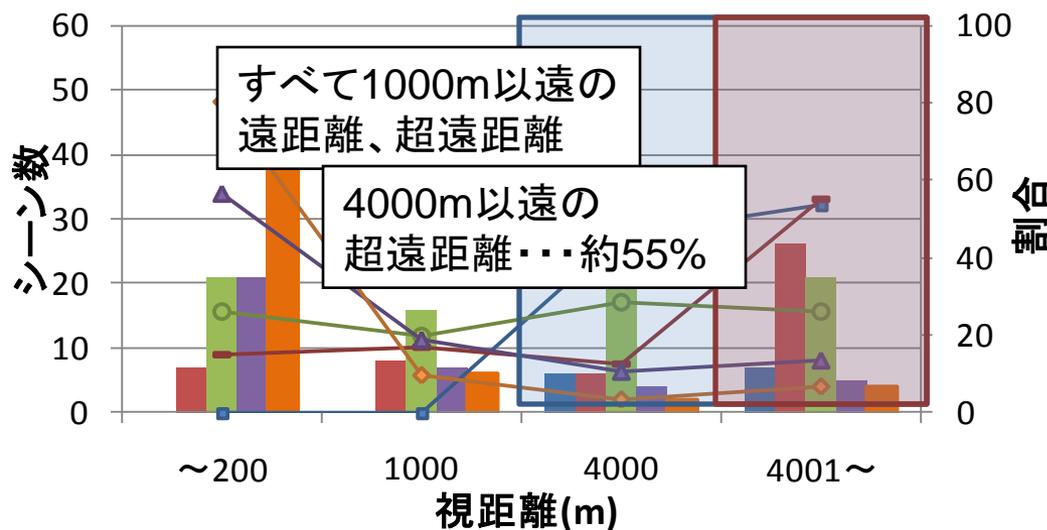
山岳などの高所で、かつ離れた場所からの俯瞰景観



類型2【郊外型】

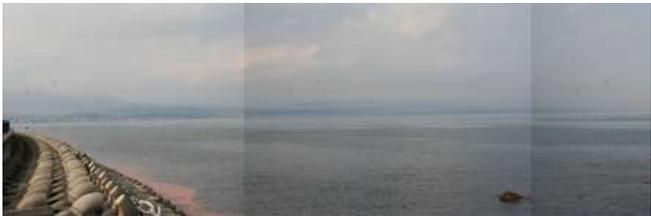


離れた場所から緩やかな俯瞰で見える、郊外の景観

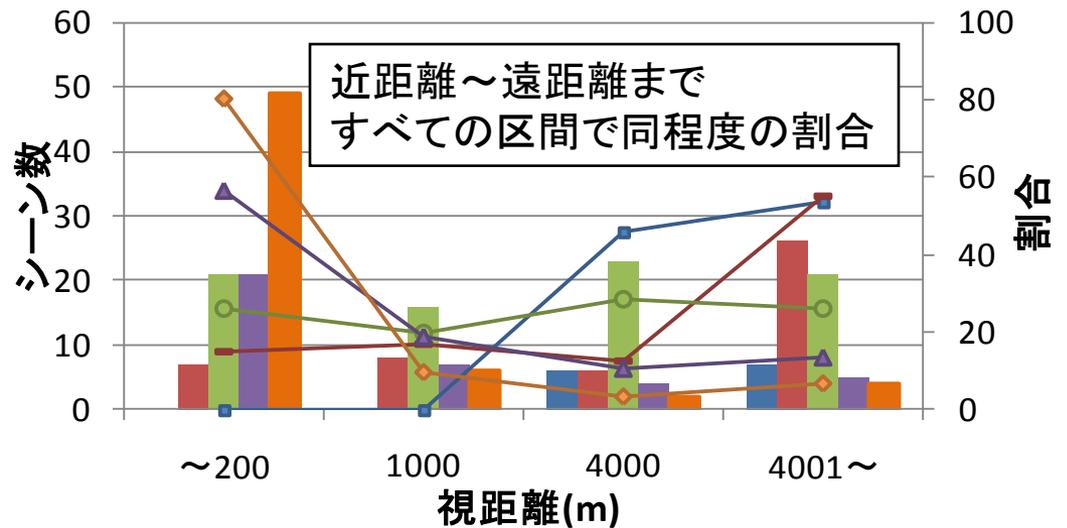
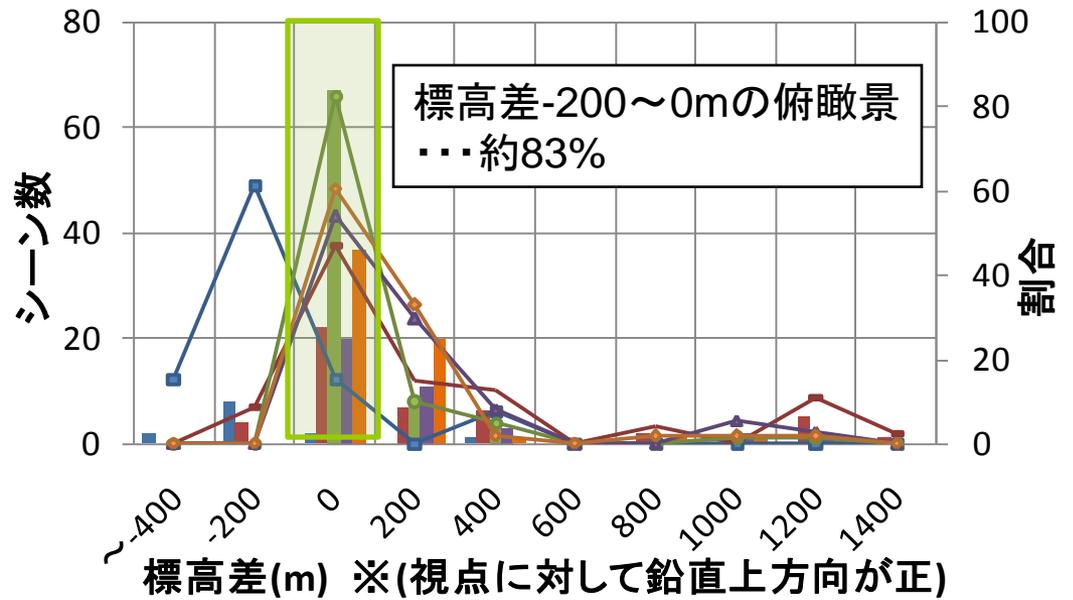


- 類型1のシーン数 ■ 類型2のシーン数 ■ 類型3のシーン数
- 類型4のシーン数 ■ 類型5のシーン数 ● 類型1における割合
- 類型2における割合 ● 類型3における割合 ▲ 類型4における割合
- ◆ 類型5における割合

類型3【沿岸景観型】



ゆるやかな俯瞰で見る、
沿岸付近の景観

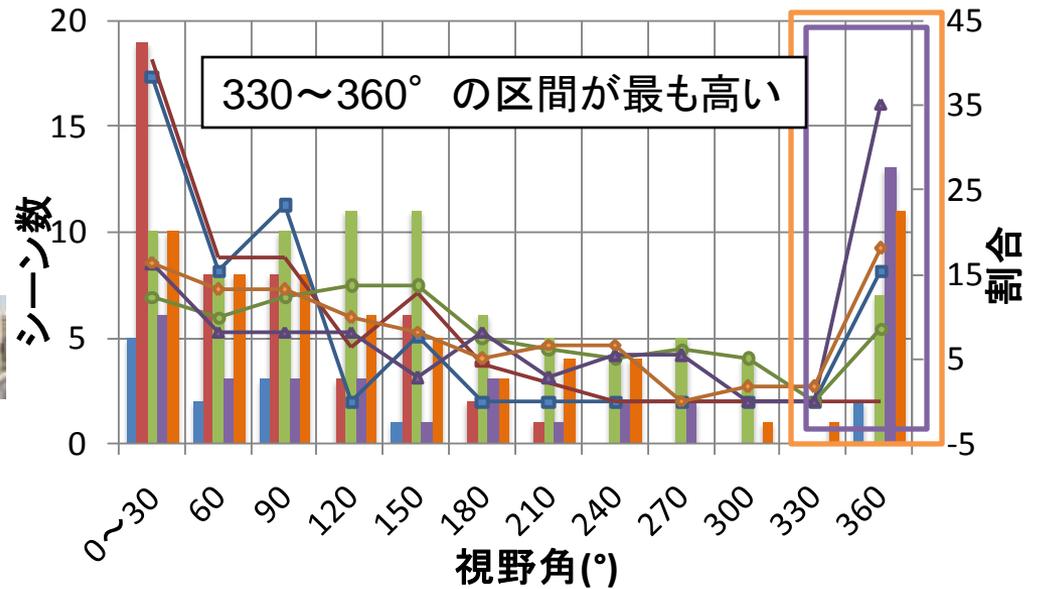


- 類型1のシーン数
- 類型2のシーン数
- 類型3のシーン数
- 類型4のシーン数
- 類型5のシーン数
- 類型1における割合
- 類型2における割合
- 類型3における割合
- 類型4における割合
- 類型5における割合

類型4【内陸-市街地型】



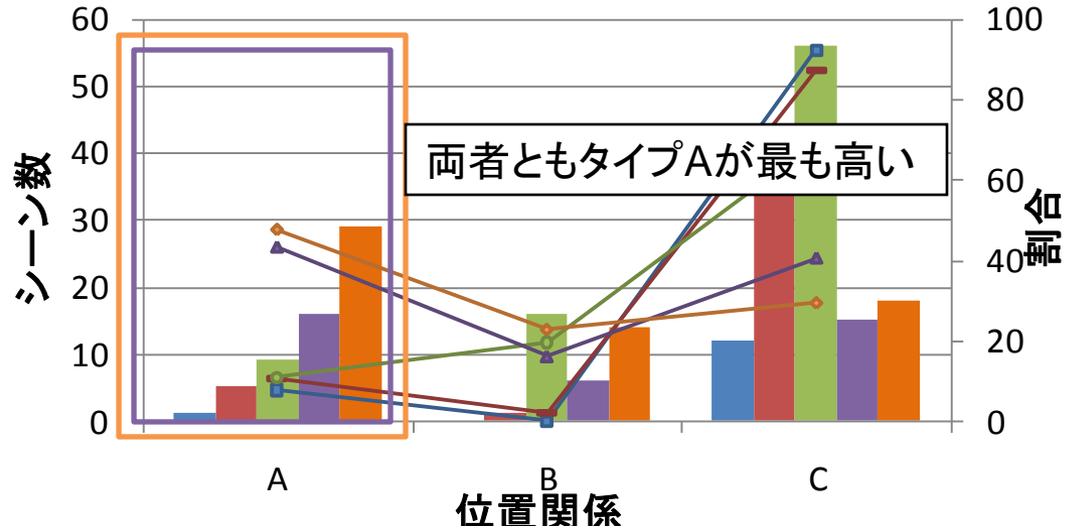
橋上からの河川を見た景観が多いことが影響



類型5【市街地-近距離型】



街並み景観が多いことが影響



- 類型1のシーン数
- 類型2のシーン数
- 類型3のシーン数
- 類型4のシーン数
- 類型5のシーン数
- 類型1における割合
- 類型2における割合
- 類型3における割合
- 類型4における割合
- 類型5における割合

まとめ

本研究では、市民アンケート調査結果を用いてシーン中の景観構成要素によって類型化を行い、**大分市における好まれる景観**には、下記の**5つの類型**があることが分かった。

類型1【郊外 - 内陸 - 遠距離型】
類型2【郊外型】
類型3【沿岸景観型】
類型4【内陸 - 市街地型】
類型5【市街地 - 近距離型】

また、視覚構造の分析によって、各類型の**構造的特性を把握**することができた。

今後は、大分市における好まれない景観の特性についても研究を行うことが課題である。